

報道関係者各位

ハングル実験プロジェクト 近代ハングル研究所

韓国文化院では、韓国の固有文字「ハングル」の文字的価値をより易しく、直観的に理解できるよう衣服、家具、動画、立体など様々な媒体で表現する「ハングル実験プロジェクト～近代ハングル研究所」展を韓国海外文化弘報院、韓国国立ハングル博物館と共同で開催する運びとなりました。

ハングルは1443年、朝鮮第4代王 世宗[セジョン](1397～1450)が創製して以来約570年間、韓国文化の土台となり、韓国人の暮らしとともに様々な変化を繰り返してきました。

ハングル実験プロジェクトは、デザインの観点からハングルを再解釈し、芸術および産業コンテンツとしてのハングルの価値にスポットライトを当てる試みで、国立ハングル博物館では2016年から3回のハングル実験プロジェクトを企画・進行してきました。第1～3回ハングル実験プロジェクトでは、15世紀のハングルの原型、音文字ハングルの特徴、ハングルの形をテーマにしました。

この度の第4回ハングル実験プロジェクトでは、現在デザイン・芸術現場で活躍中の作家らが立ち上げた<近代ハングル研究所>を中心に「ハングルの原形」、「東西の言葉と文字の研究」、「ハングル体裁研究」、「ハングル出版研究」の4つのテーマで展示会を構成しました。近代の様々なハングル表記の悩みや西洋人の視点から見たハングルの新しい一面、近代出版物に現れたハングルの組み合わせと配列の趣、ハングル書体の美しさをご覧ください。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。

資料のご依頼、取材のお申し込みは、韓国文化院(03-3357-5970)までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

【イベント概要】



■会 期：2023年8月25日(金)～10月17日(火) 10:00～17:00

※開幕式：2023年8月25日(金) 16:00～17:30

※休館日：9/18(月・祝日)、9/23(土・祝日)、9/30(土)、毎週日曜日

■会 場：韓国文化院ギャラリーMI †入場無料

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-10

■アクセス：地下鉄メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」一番出口より徒歩3分

■展示内容：ハングルの文字の価値をより易しく、直観的に理解できるように制作された映像、家具、平面、立体、衣装、遺物(レプリカ)などの28点の作品の展示

■主 催：韓国海外文化弘報院

■主 官：駐日韓国大使館 韓国文化院・韓国国立ハングル博物館

【お問い合わせ】駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 ◻www.koreanculture.jp

イベント担当 河聖煥(ハ・ソンファン) / 広報担当 趙恩京(ジョ・ウンギョン)

【主な作品】



馴染みのなさ、新しさ、そしてつながり
イ・チョンチョン、2022年



ハン HAN グル文
イ・ファヨン、2022年



ハングル狂想
キム・ヒョンジン、2022年



訓民正音解例本（複製）

【国立ハングル博物館】

国立ハングル博物館は、韓国の代表的な文化遺産である「ハングル」の文字的・文化的価値を創出し、それを広く発信することを目的に、2014年10月9日*に開館しました。

国立ハングル博物館は、韓国国内外に点在しているハングルに関する資料を調査、収集、研究し、展示によってハングルの文化的多様性と未来価値を紹介するとともに、世代や国籍を超えたコミュニケーションと共感を目指すハングル教育を行うことで、ハングル文化の発展に取り組んでいます。



*韓国ではハングルが作られたことを記念し、ハングルが公布されたと考えられている10月9日を「ハングルの日」に定めています。

「お問い合わせ：韓国文化院 河・趙 ☎03-3357-5970 ✉ postmaster@koreanculture.jp」